

| | |
|-----------------|--|
| 本時のねらい | 分数のかけ算と引き算の答えが同じになる計算について、繰り返し計算を行い共通点を探ることを通して、きまりに気づき、分数の計算に習熟することができるようにする。 |
| 評価規準 | 分数のかけ算と引き算の答えが同じになる計算について、計算式が成り立つ時のきまりに気づき、分数の基本的な計算に習熟することができるようになる。 |
| 具体的な児童の姿 | 分子と分母との差に着目し、規則性を見つけようと繰り返し計算を行っている。「分子と分子、分母と分母同士の差にきまりがあることがわかった。」「繰り返し計算することによって、規則性を見つけることができた。」 |

| 時間 | 児童の活動 | 指導○及び留意点・ ◎評価〈方法〉 ※支援を要する児童への手立て | 準備物 |
|-----|-----------------------------------|--|--------------|
| 5分 | 1. 単位分数同士で、ひき算とかけ算の答えが同じになる計算をする | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">めあて：分数の計算をしよう</div> <ul style="list-style-type: none"> ○単位分数同士の計算を行い、共通点からきまりを見つけさせる。 ・宿題に出した分数の計算問題の答え合わせを行い、 $1/2 - 1/3$ と $1/2 \times 1/3$ の答えがともに $1/6$ になることと $1/3 - 1/4$ と $1/3 \times 1/4$ の答えがともに $1/12$ になることと $1/4 - 1/5$ と $1/4 \times 1/5$ の答えが $1/20$ になることを確認し、なに かきまりがあるのではないかと考えさせる。 | 分数計算 問題掲示 |
| 20分 | 2. 自作の分数の計算を繰り返し、きまりを見つける | <div style="border: 3px double black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">課題 答えが同じになる計算には、どんなきまりがあるかな。</div> <ul style="list-style-type: none"> ○分母と分子の関係に着目し、見通しをもって自作の計算を繰り返し、きまりを見つけさせる。 ・分母の数値に着目させ、$1/5 - 1/6$ と $1/5 \times 1/6$ が $1/30$ と同じ答えになるのではないかと見通しを持って計算させる。 ※2つの分数の分母に着目させて、式の規則性を見つけさせる。 ・通分した計算過程に着目し、ひき算とかけ算の答えの分母が同じになること、2つの分数の分母の差が1であることに気づかせ、2つの分数のひき算とかけ算の答えが同じになるきまりを見つけさせ、確認する。 ※通分する計算過程を省略せず、かける数も明記させる。 ・きまりを使った式を自由につくらせ、発表させ、きまりが成り立つかを計算し確認させる。 | |
| 18分 | 3. 分子が2の時に答えが同じになるひき算、かけ算の計算式を考える | <ul style="list-style-type: none"> ○分子が2の時、成り立つ計算式を見つけださせ、何かきまりがないかと考えさせる。 ・分子が2の時でもひき算とかけ算の答えが同じになることができるかと問いかけ、今までの計算式の2つの分数の分母の差について考えさせる。(深める問い) ・分母の差が2だときまりが成り立ちそうだと見通しを持たせたところで、分母が3と5の場合で、分子の数を変えて計算をし | |

| | | | |
|----|-------------------|--|--|
| 2分 | 4. 学習のまとめと振り返りをする | <p>ていく。</p> <p>◎分数の計算に習熟している。〈記録分析〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分子が1の時は分母の差が1, 分子が2の時は分母の差が2であるという, 分子の数と分母の差が同じであるというきまりに気づかせる。 <p>○学習のまとめと振り返りをさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・答えが同じになる時にはどんなきまりがあったのかと問いかけ、学習のまとめをする。 <div style="border: 3px double black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>まとめ 分子の数が1の時, 分母の差を1にすると, ひき算とかけ算の計算の答えが同じになる。分子の数が2の時, 分母の差を2にすると, 2つの計算の答えが同じになる。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・「きまりを見つけ出すために役立った考え方は?」「次に考えてみたいことは?」(深い学び)と問いかけ、本時のふり返りをノートに書かせ、発表させる。 | |
|----|-------------------|--|--|